FWA

只今工事中

２００１－８

事務局　〒418-0065
富士宮市中央町16-1
富士宮市観光協会内
富士宮歩け歩け協会
TEL　0544-27-5240
fax　0544-26-0066

９月例会のご案内

足柄峠ウォーク　　実施日　平成１３年９月１６日(日)

●参加申し込み期限　９月10日(月)　●参加費　3,500円　●集合場所・時間　富士宮市役所　7時
●下見担当役員　前沢　実・蜂須賀　靖治・宇佐美　武幸・佐野　あさみ
●コース概要（難度　Ⅱ　・距離　15km）

富士宮市役所(7:15発)―バス移動―水ケ塚公園(8:00~8:15)―足柄駅(9:10)・ウォーキング開始(9:25)
―林道戦返線―伊勢宇橋―足柄古道―足柄神社(昼食　11:35~12:35)―東名富士カントリークラブ(13:35)
―バス移動又は希望者はウォーク継続―駿河小山駅・ふじみセンター(15:30出発)―富士宮市役所(17:00着)

＊　東名富士カントリークラブより駿河小山駅間は、バス移動又はウォークのどちらでも参加者の希望手段で可
＊　ふじみセンターで希望者は入浴できます　　入浴料　200えん

富士山お山開きウォークに参加して

穂波町在住　平松　尚

富士宮市に住まうようになってから早三十有余年になります。雄大な富士山を朝な夕なに眺めながらも、登山をしないままに過ごして参りましたが、山開きウォークが日曜日と重なり心弾ませて申し込みをしました。

当日は空高く晴れ渡り、東京では三十六度まで気温が上昇した様子でとっても暑い日でした。

九時より、富士宮浅間大社に於いて山開きの神事が市長さん等の来賓を迎え行われました。その後バス三台で新五合目まで行き、再び山開きの儀式テープカットが行なわれ、ようやく目的地の六合目を目指し歩き始めました。

溶岩が足裏を突き、吹き上げる風が頬をなで、富士登山を感じながら一歩一歩踏み締め、感覚を楽しませていただきました。

ところが十五分位しますと息遣いを少し意識するようになり、この状態が高山病の始まりでは・・・。

この程度だと大丈夫と思い己の体力の無さを感じ、登ることで精一杯でした。そんなわけで廻りの景色を見るゆとりも無く、ようやく宝永火口に辿り着き、やっと一息つく事が出来ました。うっすらと雲がかかった下界を眺めながら昼食を食べ、日本一の富士山に登った実感が沸き上って参りました。

下山は膝を使って、調子を整えながら歩きました。新五合目に着き、バスに乗り合わせた方に気軽に言葉をかけていただきました。長年ウォークを楽しんでいる様子で、行った先の「石」の話をしていただきました。

私も、心身共にゆとりを持ったウォークを心掛けたいと思いました。歩け歩け協会の役員、会員の方々に一日楽しいウォークが出来たことに感謝し、お礼を申し上げたいと思います。

水ウォークに参加して

井之頭在住　渡辺　祥子

７月１５日、富士山湧水地を歩こうと“水ウォーク２００１富士宮大会”が行われました。

田貫湖を左に見てスタートし、水路沿いに北上しました。芝川沿いに部落を通り抜けて、別荘の中を進むと猪之頭公園でお昼です。心待ちにしていたお弁当に、足どりも軽くなったように思います。桜の木の下や芝生の上など、・・・右欄上段へ続く

左欄下段よりの続き・・・緑に囲まれて楽しいひと時を過しました。スタートの時は稜線が少し見えただけなのに、私達のウォーキングを歓迎してくれるかの様な富士山になりました。

お昼を食べながら養鱒・山葵・パラグライダー山間の緑の話まで自然美あふれる内容でした。

午後は猪之頭公園を南下し、田貫湖に戻ります。途中陣馬の滝周辺を見ながら、湧水を飲んだり、汲んだり、湧き水で涼をとった一コマでした。更に南下し森林浴とも言えるコースを歩きました。川遊びを楽しむ家族を横目に河原を渡って湿原に出ます。野草の宝庫と言われる小田貫湿原を通って、ゴールの田貫湖です。目の前に広がる景色・草花について話しながら歩く楽しさを味わったウォーキングでした。湧き水も「ワァー・澄んでいる」「冷たい」「気持ちいい」「おいしい」等々貴重な体験が出来ました。河原で遊んでいる家族に声を投げて「カジカの大きいのがいたよ」と触れ合う一コマ、森林浴あり、湧き水あり、涼を体感できたウォーキングは「こんなウォーキングならまた参加したいね」と賛同の意見を聞けたことは、影役者になってくれた方々にお礼を言っている様でした。

＊　毛無山　白雲棚びく　パラグライダー
＊　湧水や　清き流れに　ホタルとび

「きつかつた　でも楽しかった」

――御神火ウォーク記――　　泉町在住　渡辺　新一

８月４日(土)　晴れ　浅間大社5:45集合。御神火ウォークメンバー14人を乗せ、バスは富士山新五合目へ向かう。

統計でみると、８月中に2~3日しか富士山の全姿は見えないそうだ。今日は特別天気のよい日で頂上から麓までくっきりと見える。この天気では、途中水分が切れたら一大事と思い、補給は村山浅間神社まで不可能なので、売店でお茶をもう一本買う。(下界より大分高値だが仕方が無い)

スタート前、今日のウォーク隊リーダー『　Ｉさん　』より「時間通り、無事に御神火を浅間大社に届けられるよう参加者全員の協力をお願いします」と挨拶があった。7:05いよいよウォーク開始。

宝永遊歩道より宝永火口西稜線に出て、ここから御殿庭にかけて急な下りが長く続く。御神火が大きいので、路肩や木の根にぶつかりそうになり、少し手を持ち上げ気味に持つので重く感じる。

御殿庭から高鉢へ向かう原生林の中、沢を３つ渡ったあたりで遅れる隊員が出てきた。クマ笹の林を過ぎ、視界の広がった原生林の中で１回目の休みを取る。一般参加の方より酸素ボンベを借りる。備えの無い事を反省する。キャラメルを口にし再び歩き出す。車の走る音が聞こえるとすぐ高鉢だ。・・・２面左欄上段へ続く